視察（研修）報告書

令和6年 1月 11日

府中市議会議長 様

会派名 創生会

日 時	令和6年1月11日
視察（研修）先	子ども家庭庁・経産省
視察（研修）項目	1. こども未来戦略（子ども家庭庁） 2. デフレ完全脱却のための総合経済対策（経済産業省）
参加者	創生会・公明党
視察（研修）内容	<p>1. こども未来戦略 こども戦略方針 加速化プラン 切れ目なくすべての子育て世帯を支援する。</p> <p>1. 妊娠・出産時から0-2歳の支援強化 伴走型支援：10万円＋相談支援 出産応援ギフト5万円相当＋子育て応援ギフト5万円相当を 2回に分け、免田を受けてアンケートに回答して支給する。</p> <p>2. こども誰でも通園制度を創設 働いてなくても時間単位で柔軟に利用できる 本格実施に向けたスケジュール 令和5年度 制度の本格実施を見据えた試行的事業 令和7年度 法律上制度化し、実施自治体数を拡充 令和8年度 法律に基づく新たな給付制度</p> <p>3. 保育所：量の拡大から質の向上へ 児童数当たりの保育士を増加：1歳児5人に保育士1人と保 育士の殊遇改善</p> <p>4. 貧困、虐待防止、障害児・医療的ケア児 こども貧困対策 児童扶養手当の拡充として所得制限の見 直し、多子加算の増額。児童扶養手当の受給に連動した支援 策の要件緩和。</p> <p>2. デフレ完全脱却のための総合経済対策 ア. 物価高から国民生活を守る</p>

	<p>1 物価高により厳しい状況にある生活者・事業者への支援 2 エネルギーコスト上昇に対する経済社会の耐性の強化</p> <p>イ. 地方・中堅・中小企業を含めた持続的賃上げ、所得向上と地方の成長を実現する</p> <p>1 中堅・中小企業の賃上げ環境整備、人手不足対応、生産性向上を通じた賃上げ継続の支援 2 構造的賃上げに向けた三位一体の労働市場改革の推進 3 経済の回復基調の地方への波及及び経済交流の拡大</p> <p>ウ 成長力の強化・高度化に資する国内投資を促進</p> <p>1 生産性向上・供給力強化を通じて潜在成長率を引き上げるための国内投資のさらなる拡大 2 イノベーションをけん引するスタートアップ等の支援</p> <p>エ 人口減少を乗り越え、変化を力にする社会変革を起動・推進する</p> <p>1 デジタルによる地方活性化 2 デジタル行財政改革 3 公的セクター等の改革 4 DX の推進に関連するその他の取り組み 5 人手不足等に対応する制度・規律改革及び外国人活用 6 包摂社会の実現</p> <p>オ 国土強靱化、防災・減災などの国民の安全・安心を確保する</p> <p>1 自然災害からの復旧・復興の加速 2 防災、減災、国土強靱化の推進 3 国民の安全・安心の確保及び外交・安全保障環境の変化への対応</p> <p>経済対策の規模 令和5年度 一般会計予算 17兆円 経済対策効果 経済押し上げ効果 実質 GDP 換算：19兆円程度 年成長率換算： 1.2%程度 消費者物価の抑制：プラス 1.0% p t 程度</p>
--	--

所 感	<p>1. こども未来戦略</p> <p>出産・子育て応援交付金等 こども未来戦略法加速化プランとして財政出動しているが、現実的には一極集中的都市構造の是正しないと人口減少の歯止めはならない。東京都の少子化が一番進んでいる。広島県でも転出超過の現実。若者世代は仕事や就職を求めて首都圏に行く。こども未来戦略への財源出動よりも、教育・研究開発費等への転換することで将来的には地方創生のチャンスが生まれ少子化対策になるような気もする。</p> <p>2. デフレ完全脱却のための総合経済対策</p> <p>日本経済はバブル崩壊以降低迷している。成長経済に転換するためには規制緩和等による民間活力の発揮、不良債権の問題の解決、財政改革をして産業の構造調整を図ることが必要である。賃上げするけど物価高騰が続けばデフレ脱却にはならない。日本の課題は食料安全保障、国家安全保障への施策が弱すぎる。</p>
--------	--

視察（研修）報告書

令和6年 1月 12日

府中市議会議長 様

会派名 創生会

日 時	令和6年1月12日
視察（研修）先	東京都三鷹市教育委員会
視察（研修）項目	三鷹市コミュニティー・スクールを基盤とした小・中一貫教育
参加者	創生会・公明党
視察（研修）内容	<p>三鷹市教育ビジョン</p> <p>人間力・社会力の育成を目指して質の高い教育提供をどの学校においても保障する。義務教育9年間に責任を持つ。</p> <p>ア コミュニティー・スクール</p> <p>三鷹市のコミュニティー・スクール2つの機能</p> <ol style="list-style-type: none">1. 学校運への参画としてコミュニティー・スクール委員会（学園単位の学校運営協議会）設置。2. 学校支援ボランティアの調整など、学校教育への支援による教育活動への参画 <p>イ 小・中一貫教育</p> <p>三鷹市立小・中一貫教育の特色</p> <ol style="list-style-type: none">1. 既存の小学校・中学校を小中一貫型小学校中学校として義務教育9年間の市道に責任を持ち、学園内の小・中学校間の強固な連携と交流を通して、一体感のある学園としての教育を推進する。2. コミュニティー・スクールを基盤として、小・中一貫カリキュラムに基づき、連続性と系統性を重視して行い、児童・生徒に人間力と社会力を培う。3. 三鷹らしい多様な教育活動や地域人材との協働を通して、小・中一貫教育の充実発展を目指す。

所	感 三鷹市のコミュニティー・スクールを基盤とした小・中一貫教育学校は建物は別々ですが学園と名付けて三鷹市小・中一貫カリキュラムに基づく授業を行っているのが面白い。また学園ごとにコミュニティー・スクール委員会があり法律に元づき学校運営について協議する委員会が学園を支えている。学校と保護者、地域の連携で学校と一緒に子供たちの通う学校をより良い学校にする。子供たちの通う学校について、先生たちだけでなく保護者や地域のみんなで共に学校教育活動を支援することは大切です。学校とコミュニティーを結ぶ素晴らしい取り組みでした。
---	--